

## 大学院保健学研究科

### ・教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### ・看護学領域

神戸大学大学院のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科看護学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身に付けさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として保健倫理学特講Ⅰ，臨床心理学特講Ⅰ，エビデンスベーストヘルスケア特講Ⅰ，医療保健福祉特講Ⅰ，国際実践特講Ⅰ，国際実践フィールドワークⅠ及びその他必要と認める科目を開設する。さらに一部の科目は，英語での講義としている。
2. 深い学識を涵養し，「専門性」を学生に身につけさせるため，以下の専門科目を開設する。さらに，助産師コース，家族支援専門看護師コースを開設する。
  - ・ Evidence based nursing を基盤とした深い学識と高度実践能力を身につけることができるよう，エビデンスベーストヘルスケア特講Ⅰなどの全領域共通科目，看護教育特講Ⅰ，などの看護学領域共通科目及びその他必要と認める科目を開設する。
  - ・ スペシャリストとして，直面する問題を多角的に分析し，解決する能力を身につけることができるよう，看護実践開発学科目，在宅看護学科目，家族看護学科目，母性看護学科目及びその他必要と認める科目を開設する。
  - ・ 専門領域を超え，医療保健福祉チームの一員として協働して働くことができる能力を身につけることができるよう，国際実践フィールドワークⅠ，IPW 特講Ⅰなどの全領域共通科目，看護コンサルテーション特講Ⅰなどの看護学領域共通科目及びその他必要と認める科目を開設する。
  - ・ 看護の役割拡大に適応できる深い学識と卓越した専門的能力を身につけることができるよう，上級臨床薬理学，上級病態生理学，上級フィジカルアセスメント学などの CNS 課程科目，高度実践助産技術学演習などの助産師コース科目及びその他必要と認める科目を開設する。

なお，これらの科目は，講義・演習・実験・実習等の授業形態に応じて，アクティブラーニング，体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は，学修目標に即して多角的，包括的な方法で行う。

## ・病態解析学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科病態解析学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」および保健学研究科共通の「専門性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、別表に示す科目、及びその他必要と認める科目を開設する。

2. 深い学識を涵養し、分野特有の「専門性」を学生に身につけさせるため、授業科目を開設するとともに修士論文に係る研究指導を行う。

- ・分析医科学の能力を身につけることができるよう、別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。
- ・細胞機能・構造科学の能力を身につけることができるよう、別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。
- ・病態代謝学の能力を身につけることができるよう、別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。
- ・臨床免疫学の能力を身につけることができるよう、別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。
- ・その他の病態解析学の能力を身につけることができるよう、別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせて行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多角的、包括的な方法で行う。

### ・リハビリテーション科学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科リハビリテーション科学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、領域共通科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、生体構造分野科目、運動器障害学分野科目、脳機能・精神障害リハビリテーション分野科目、健康情報科学分野科目の各専門科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・実技・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多角的、包括的な方法で行う。

## ・地域保健学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域（博士課程前期課程）は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、全領域共通科目、領域共通科目及びその他必要と認める科目を開設する。

2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の地域保健学領域の専門科目を開設する。

- ・ 科学的思考力と倫理観に根ざす地域保健の実践を展開できる能力を身につけることができるよう保健倫理学特講Ⅰなどの全領域共通科目、地域保健学実習Ⅰなどの領域共通科目、地域保健実践学特講Ⅰ、生活習慣病・予防治療学特講Ⅰを開設する。

(保健師コースは上記科目に加えて、公衆衛生看護学特講などの講義科目、個別支援論演習などの演習科目、公衆衛生看護学実習などの実習科目、公衆衛生看護学特別研究を開設する)

- ・ 地域保健に従事する上で必要な高い学識・技術・応用力を備え研究活動を行う能力を身につけることができるようエビデンスベーストヘルスケア特講Ⅰなどの全領域共通科目、地域保健・健康科学特別研究Ⅰなどの領域共通科目、地域保健実践学特講Ⅰ、生活習慣病・予防治療学特講Ⅰを開設する。

(保健師コースは上記科目に加えて、疫学特講などの講義科目、地域看護診断演習などの演習科目、公衆衛生看護学実習などの実習科目、公衆衛生看護学特別研究を開設する)

なお、これらの科目は、講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。

学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

## ・国際保健学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科国際保健学領域は以下に示した方針に則りカリキュラムを編纂する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科学及びその他必要と認める科目を開設する。

2. 深い学識を涵養し、「国際保健における重要課題に対応する能力（専門性）」を身につけることができるよう、以下の専門科目を開設する。（共通科目を含む）

- ・「国際保健における重要課題に対応する能力（専門性）」を身につけることができるよう、国際実践特講Ⅰなどの全領域共通科目、国際保健支援論特講Ⅰなどの領域共通科目を開設する。
- ・「国際的な視野をもち、世界各国における健康水準格差を把握し、その要因を解明する能力（国際性）」を身につけることができるよう、国際実践フィールドワークⅠなどの全領域共通科目、感染症学特講Ⅰ、国際保健支援論特講Ⅰなどの領域共通科目を開設する。
- ・「専門知識・技術を基本として、国際保健の現場における課題を見出し、柔軟に対応できる能力（創造性）」を身につけることができるよう、エビデンスベーストヘルスケア特講Ⅰ、国際実践特講Ⅰなどの全領域共通科目、国際保健協力活動特別研究Ⅰ、などの領域共通科目を開設する。
- ・「国際保健活動の理念、国際保健活動の実施に必要なコミュニケーションおよびマネジメント能力（人間性）」を身につけることができるよう、国際保健コミュニケーション特講Ⅰなどの全領域共通科目、国際保健支援論特講Ⅰ、国際保健フィールドワークⅠ、災害マネジメント論特講Ⅰなどの領域共通科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・実技・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して 多元的、包括的な方法で行う。

## 大学院保健学研究科

### ・教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### ・看護学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科看護学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身に付けさせるため、すべての学生が履修する全領域共通科目として医療保健統計学・疫学特講Ⅱ，社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ，精神保健学特講Ⅱ，IPW 特講Ⅱ，国際実践特講Ⅱ 及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する。
  - ・専門領域を超え、医療保健福祉チームと協働するための指導的役割を果たす能力を身につけることができるよう、医療保健統計学・疫学特講Ⅱ，社会・保健行動科学研究法特講Ⅱなどの全領域共通科目及びその他必要と認める科目を開設する。
  - ・最先端のエビデンスを創造するための先駆的な研究能力を身につけることができるよう、看護学特別研究Ⅱを開設する。
  - ・看護の役割拡大に適応できる深い学識と卓越した専門的能力を身につけることができるよう、看護実践開発学科目，在宅看護学科目，家族看護学科目，母性看護学科目を開設する。
  - ・看護界を牽引し、次世代の看護専門職者を養成するための教育能力を身につけることができるよう、看護実践学特講Ⅱ，療養支援看護学特講Ⅱなどの看護学領域共通科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・実技・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせる。学修成果の評価は、学修目標に即して多元的、包括的な方法で行う。

## ・病態解析学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科病態解析学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」および保健学研究科共通の「専門性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として別表に示す科目、及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、分野特有の高度な「専門性」を学生に身につけさせるため、授業科目を開設するとともに博士論文に係る研究指導を行う。
  - ・分析医科学の能力を身につけることができるよう、別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。
  - ・細胞機能構造科学の能力を身につけることができるよう、別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。
  - ・病態代謝学の能力を身につけることができるよう、別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。
  - ・臨床免疫学の能力を身につけることができるよう、別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。
  - ・その他の病態解析学の能力を身につけることができるよう、別表に示す科目、及びその他必要と認める授業科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実験・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせる。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

## ・リハビリテーション科学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科リハビリテーション科学領域は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、領域共通科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、生体構造分野科目、運動器障害学分野科目、脳機能・精神障害リハビリテーション分野科目、健康情報科学分野科目の各専門科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・実技・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせる。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

## ・地域保健学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域（博士課程後期課程）は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、全領域共通科目、領域共通科目及びその他必要と認める科目を開設する。

2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の地域保健学領域の専門科目を開設する。

・科学的思考力と高い倫理観に根ざし、高度で卓越した地域保健の実践を展開できる能力を身につけることができるよう医療保健統計学・疫学特講Ⅱなどの全領域共通科目、地域実践活動特別演習Ⅱなどの領域共通科目、生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ、地域保健実践学特講Ⅱを開設する。

・地域保健学の学問体系の確立と発展に寄与し、学際的研究を積極的に推進する能力を身につけることができるよう社会・保健行動科学研究法特講Ⅱなどの全領域共通科目、地域保健・健康科学特別研究Ⅱなどの領域共通科目、生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ、地域保健実践学特講Ⅱを開設する。

・地域保健に関する諸課題を科学的・理論的に分析し社会に発信する能力を身につけることができるよう精神保健学特講Ⅱなどの全領域共通科目、ヘルスプロモーション学特講Ⅱなどの領域共通科目、生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ、地域保健実践学特講Ⅱを開設する。

なお、これらの科目は、講義・実技・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせる。学修成果の評価は、学修目標に即して多角的、包括的な方法で行う。

## ・国際保健学領域

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学研究科国際保健学領域は以下に示した方針に則りカリキュラムを編纂する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、全領域共通科目、領域共通科目及びその他必要と認める科目を開設する。

2. 深い学識を涵養し、「専門性」を学生に身につけさせるため、以下の国際保健学領域の専門科目を開設する。

- ・「国際保健における重要課題に対応する能力（専門性）」を身につけることができるよう、医療保健統計学・疫学特講Ⅱなどの全領域共通科目、国際保健支援論特講Ⅱなどの領域共通科目を開設する。
- ・「国際的な視野をもち、世界各国における健康水準格差を把握し、その要因を解明する能力（国際性）」を身につけることができるよう、国際実践フィールドワークⅡなどの全領域共通科目、感染症学特講Ⅱ、国際保健支援論特講Ⅱなどの領域共通科目を開設する。
- ・「専門知識・技術を基本として、国際保健の現場における課題を見出し、柔軟に対応できる能力（創造性）」を身につけることができるよう、エビデンスベーストヘルスケア特講Ⅱ、国際実践特講Ⅱなどの全領域共通科目、保健医療論演習Ⅱなどの領域共通科目を開設する。
- ・「国際保健活動の理念、国際保健活動の実施に必要なコミュニケーションおよびマネージメント能力（人間性）」を身につけることができるよう、精神保健学特講Ⅱなどの全領域共通科目、フィールドワーク演習Ⅱなどの領域共通科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・実技・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多角的、包括的な方法で行う。

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程前期課程 看護学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける学習目標	1年次		2年次		
	前期	後期	前期	後期	
人間性 豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立した看護専門職者として、人々の健康を守るために行動できる能力	国際保健コミュニケーション特講Ⅰ	医療保健福祉特講Ⅰ	家族看護学基礎実習 *CNS	家族看護学展開実習 *CNS	
	保健倫理学特講Ⅰ	移植・人工臓器学特講Ⅰ	看護実践学特別研究Ⅰ	看護実践学特別研究Ⅰ	
	看護教育特講Ⅰ *CNS	臨床心理学特講Ⅰ	療養支援看護学特別研究Ⅰ	療養支援看護学特別研究Ⅰ	
	看護研究特講Ⅰ *CNS	看護管理特講Ⅰ *CNS	在宅看護学特別研究Ⅰ	在宅看護学特別研究Ⅰ	
	看護実践学特講Ⅰ	看護コンサルテーション特講Ⅰ *CNS	母性看護学特別研究Ⅰ	母性看護学特別研究Ⅰ	
	看護実践学特別研究Ⅰ	看護実践学演習Ⅰ	助産学特別研究	助産学特別研究	
	療養支援看護学特別研究Ⅰ	療養支援看護学演習Ⅰ	地域母子保健特講 *助産師		
	在宅看護学特講Ⅰ	在宅看護学演習Ⅰ			
	在宅看護学特別研究Ⅰ	家族インターベンション学 *CNS			
	家族看護学特講Ⅰ	実践家族看護学 *CNS			
	家族環境学 *CNS	実践家族看護学演習 *CNS			
	理論家族看護学 *CNS	母性看護学演習Ⅰ			
	家族症候学 *CNS	看護実践学特別研究Ⅰ			
	母性看護学特講Ⅰ	療養支援看護学特別研究Ⅰ			
	母性看護学特別研究Ⅰ	在宅看護学特別研究Ⅰ			
	助産学特別研究	母性看護学特別研究Ⅰ			
	創造助産学概論 *助産師	看護倫理特講Ⅰ *CNS			
	生涯女性健康科学特講 *助産師	助産学特別研究			
	創造性 伝統的な思考や方法を真摯に学ぶとともに、これらの知識を批判的に継承し、受け継いだ思考や方法の中に新たな課題を発見して創造的に解決できる能力  問題意識をもち、現場を改革するための看護実践方法を開発する能力	看護実践学特講Ⅰ	臨床心理学特講Ⅰ	看護実践学特別研究Ⅰ	看護実践学特別研究Ⅰ
		看護実践学特別研究Ⅰ	看護実践学特別研究Ⅰ	療養支援看護学特別研究Ⅰ	療養支援看護学特別研究Ⅰ
療養支援看護学特講Ⅰ		療養支援看護学特別研究Ⅰ	在宅看護学特別研究Ⅰ	在宅看護学特別研究Ⅰ	
療養支援看護学特別研究Ⅰ		在宅看護学特別研究Ⅰ	家族看護学特別研究Ⅰ	家族看護学特別研究Ⅰ	
在宅看護学特別研究Ⅰ		家族看護学特別研究Ⅰ	母性看護学特別研究Ⅰ	母性看護学特別研究Ⅰ	
家族看護学特講Ⅰ *ICHS		母性看護学特別研究Ⅰ	助産学特別研究	助産学特別研究	
家族看護学特別研究Ⅰ		助産学特別研究			
母性看護学特講Ⅰ					
母性看護学特別研究Ⅰ					
助産学特別研究					
実践家族看護学研究 *CNS		実践家族看護学研究 *CNS	実践家族学研究 *CNS	実践家族看護学研究 *CNS	
創造助産学概論 *助産師		看護コンサルテーション特講Ⅰ *CNS	助産管理特講 *助産師		
国際保健コミュニケーション特講Ⅰ *ICHS		看護倫理特講Ⅰ *CNS			
看護研究特講Ⅰ *CNS		看護実践学演習Ⅰ			
国際実践特講Ⅰ *ICHS		療養支援看護学演習Ⅰ			
	在宅看護学演習Ⅰ				
	家族看護学演習Ⅰ				
	母性看護学演習Ⅰ				

部局DPにおける学習目標		1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
国際性	多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努め、優れたコミュニケーションを図る能力	国際保健コミュニケーション特講Ⅰ ※ICHS 看護実践学特講Ⅰ 在宅看護学特講Ⅰ 家族看護学特講Ⅰ ※ICHS	看護管理特講Ⅰ *CNS 看護コンサルテーション特講Ⅰ *CNS 母性看護学演習Ⅰ IPW特講Ⅰ ※ICHS	トランス文化家族看護学 *CNS ※英語	
	国際的に普遍的な価値をもつ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に最も相応しい形で適用することができる能力	国際実践フィールドワークⅠ ※ICHS 家族看護学特別研究Ⅰ 母性看護学特別研究Ⅰ 創造助産学概論 *助産師	国際実践フィールドワークⅠ ※ICHS 家族看護学特別研究Ⅰ 母性看護学特別研究Ⅰ バイオサイエンス特講Ⅰ ※ICHS	家族看護学特別研究Ⅰ 母性看護学特別研究Ⅰ	家族看護学特別研究Ⅰ 母性看護学特別研究Ⅰ
	看護学分野の中核人材として、国際社会でリーダーシップを発揮できる能力	国際実践特講Ⅰ ※ICHS 情報科学特講Ⅰ	IPW特講Ⅰ ※ICHS	地域母子保健特講 *助産師	
専門性	Evidence based nursingを基盤とした深い学識と高度実践能力	国際実践特講Ⅰ ※ICHS 保健倫理学特講Ⅰ 情報科学特講Ⅰ エビデンスベーストヘルスケア特講Ⅰ 看護教育特講Ⅰ *CNS 看護研究特講Ⅰ *CNS 理論家族看護学 *CNS ハイリスク母性ケア論特講 *助産師	家族看護学基盤実習 *CNS 医療保健福祉特講Ⅰ 移植・人工臓器学特講Ⅰ 情報科学特講Ⅰ 分子生物学特講Ⅰ 臨床心理学特講Ⅰ	こども保育期・教育期家族看護学 *CNS	
	スペシャリストとして、直面する問題を多角的に分析し、解決する能力	家族環境学 *CNS 家族症候学 *CNS 療養支援看護学特講Ⅰ 母性看護学特講Ⅰ ハイリスク母性ケア論特講 *助産師 創造助産学概論 *助産師 生涯女性健康科学特講 *助産師 高度実践助産技術学特講 *助産師 高度周産期技術学特講 *助産師 母性看護学特別研究Ⅰ 看護実践学特別研究Ⅰ 療養支援看護学特別研究Ⅰ 在宅看護学特別研究Ⅰ 家族看護学特別研究Ⅰ 助産学特別研究 実践家族看護学研究 *CNS	看護管理特講Ⅰ *CNS 在宅看護学演習Ⅰ 実践家族看護学 *CNS 実践家族看護学演習 *CNS 母性看護学演習Ⅰ 生涯女性健康科学演習 *助産師 助産学実習Ⅰ *助産師 助産学実習Ⅱ *助産師 母性看護学特別研究Ⅰ 看護実践学特別研究Ⅰ 療養支援看護学特別研究Ⅰ 在宅看護学特別研究Ⅰ 助産学特別研究 実践家族看護学研究 *CNS	家族看護学展開実習 *CNS 助産管理特講 *助産師 助産学実習Ⅲ *助産師 助産学実習Ⅳ *助産師 母性看護学特別研究Ⅰ 看護実践学特別研究Ⅰ 療養支援看護学特別研究Ⅰ 在宅看護学特別研究Ⅰ 家族看護学特別研究Ⅰ 助産学特別研究 実践家族看護学研究 *CNS	実践家族看護学研究 *CNS 母性看護学特別研究Ⅰ 看護実践学特別研究Ⅰ 療養支援看護学特別研究Ⅰ 在宅看護学特別研究Ⅰ 家族看護学特別研究Ⅰ 助産学特別研究 実践家族看護学研究 *CNS
	専門領域を超え、医療保健福祉チームの一員として協働して働くことができる能力	在宅看護学特講Ⅰ 国際実践フィールドワークⅠ ※ICHS	看護コンサルテーション特講Ⅰ *CNS IPW特講Ⅰ ※ICHS 家族インターベンション学 *CNS 国際実践フィールドワークⅠ ※ICHS	トランス文化家族看護学 *CNS ※ICHS 地域母子保健特講 *助産師	
	看護の役割拡大に適応できる深い学識と卓越した専門的能力	上級臨床薬理学 *CNSおよび*助産師 上級病態生理学 *CNSおよび*助産師	上級フィジカルアセスメント学 *CNS 分子生物学特講Ⅰ ※ICHS バイオサイエンス特講Ⅰ ※英語 高度実践助産技術学演習 *助産師 高度周産期技術学演習 *助産師	助産学実習Ⅲ *助産師 助産学実習Ⅳ *助産師 助産管理学	家族看護学統合実習 *CNS

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程後期課程 看護学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局D Pにおける学習目標	1年次		2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間性	豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立した看護専門職者として、人々の健康を守るために行動できる能力	看護実践学特講Ⅱ 在宅看護学特講Ⅱ 家族看護学特講Ⅱ 母性看護学特講Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ 看護実践開発学演習Ⅱ 母性看護学演習Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ 国際実践フィールドワーク演習Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ
創造性	看護学の学術的基盤を発展させるために、グローバルスタンダードを踏まえ、看護学の深い知識や技術に裏付けされたイノベーションをもたらす能力  多(他)職種と連携し、政策過程に参画し、総合保健医療システムの開発や変革をもたらす能力	国際実践特講Ⅱ※ICHS 社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ 看護実践学特講Ⅱ 療養支援看護学特講Ⅱ 在宅看護学特講Ⅱ 家族看護学特講Ⅱ 母性看護学特講Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ 看護実践開発学演習Ⅱ 在宅看護学演習Ⅱ 家族看護学演習Ⅱ 母性看護学演習Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ  IPW特講Ⅱ※ICHS	看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ※ICHS 看護学特別研究Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ
国際性	多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努め、優れたコミュニケーションを図る能力  国際的に普遍的な価値をもつ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に最も相応しい形で適用することができる能力	国際実践フィールドワークⅡ※ICHS  国際実践特講Ⅱ※ICHS	国際実践フィールドワークⅡ※ICHS  IPW特講Ⅱ※ICHS バイオサイエンス特講Ⅱ※ICHS		国際実践フィールドワーク演習Ⅱ※ICHS  国際実践フィールドワーク演習Ⅱ※ICHS	
	看護学分野の中核人材として、国際社会でリーダーシップを発揮できる能力	看護学特別研究Ⅱ 家族看護学特講Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ IPW特講Ⅱ※ICHS 母性看護学演習Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ
専門性	専門領域を超え、医療保健福祉チームと協働するための指導的役割を果たす能力  最先端のエビデンスを創造するための先駆的な研究能力  看護の役割拡大に適応できる深い学識と卓越した専門的能力  看護界を牽引し、次世代の看護専門職者を養成するための教育能力	国際実践特講Ⅱ※ICHS 形態機能研究法特講Ⅱ 医療保健統計学・疫学特講Ⅱ 社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ  看護学特別研究Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ 分子生物学研究法特講Ⅱ※ICHS バイオサイエンス特講Ⅱ※ICHS  看護学特別研究Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ※ICHS  看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ	看護学特別研究Ⅱ 看護学特別研究Ⅱ
		看護実践学特講Ⅱ 療養支援看護学特講Ⅱ 在宅看護学特講Ⅱ 家族看護学特講Ⅱ 母性看護学特講Ⅱ	看護実践開発学演習Ⅱ 在宅看護学演習Ⅱ 家族看護学演習Ⅱ 母性看護学演習Ⅱ			
		看護実践学特講Ⅱ 療養支援看護学特講Ⅱ 在宅看護学特講Ⅱ 家族看護学特講Ⅱ 母性看護学特講Ⅱ	看護実践開発学演習Ⅱ 在宅看護学演習Ⅱ 家族看護学演習Ⅱ 母性看護学演習Ⅱ			

# カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程前期課程 病態解析学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける学習目標	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
人間性	国際保健コミュニケーション特講I	医療保健福祉特講 I	病態解析学特別研究 I	病態解析学特別研究 I
	保健倫理学特講 I	移植・人工臓器学特講 I		
	分析医科学特講 I	臨床心理学特講 I		
	細胞機能構造科学特講 I	分析医科学演習 I		
	病態代謝学特講 I	細胞機能構造科学演習 I		
	臨床免疫学特講 I	病態代謝学演習 I		
	病態解析学特別研究 I	臨床免疫学演習 I		
創造性		病態解析学特別研究 I		
	国際実践特講 I	臨床心理学特講 I	病態解析学特別研究 I	病態解析学特別研究 I
	国際保健コミュニケーション特講I	分析医科学演習 I		
	分析医科学特講 I	細胞機能構造科学演習 I		
	細胞機能構造科学特講 I	病態代謝学演習 I		
	病態代謝学特講 I	臨床免疫学演習 I		
	臨床免疫学特講 I	病態解析学特別研究 I		
病態解析学特別研究 I				
国際性	国際実践フィールドワーク I	国際実践フィールドワーク I	病態解析学特別研究 I	病態解析学特別研究 I
	国際保健コミュニケーション特講I	分析医科学演習 I		
	国際実践特講 I	細胞機能構造科学演習 I		
	分析医科学特講 I	病態代謝学演習 I		
	細胞機能構造科学特講 I	臨床免疫学演習 I		
	病態代謝学特講 I	病態解析学特別研究 I		
	臨床免疫学特講 I			
病態解析学特別研究 I				
専門性	国際実践特講 I	医療保健福祉特講 I	病態解析学特別研究 I	病態解析学特別研究 I
	保健倫理学特講 I	移植・人工臓器学特講 I		
	情報科学特講 I	情報科学特講 I		
	エビデンスベーストヘルスケア特講 I	分子生物学特講 I		
	分析医科学特講 I	臨床心理学特講 I		
	細胞機能構造科学特講 I	分析医科学演習 I		
	病態代謝学特講 I	細胞機能構造科学演習 I		
	臨床免疫学特講 I	病態代謝学演習 I		
	病態解析学特別研究 I	臨床免疫学演習 I		
	病態解析学特別研究 I			

## カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程後期課程 病態解析学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPIにおける学習目標	1年次		2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間性	分析医科学特講Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	
	細胞機能構造科学特講Ⅱ	分析医科学演習Ⅱ			病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ
	病態代謝学特講Ⅱ	細胞機能構造科学演習Ⅱ				
	臨床免疫学特講Ⅱ	病態代謝学演習Ⅱ				
	病態解析学特別研究Ⅱ	臨床免疫学演習Ⅱ				
創造性		病態解析学特別研究Ⅱ				
	国際実践特講Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	
	社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ	分析医科学演習Ⅱ			病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ
	分析医科学特講Ⅱ	細胞機能構造科学演習Ⅱ				
	細胞機能構造科学特講Ⅱ	病態代謝学演習Ⅱ				
	病態代謝学特講Ⅱ	臨床免疫学演習Ⅱ				
国際性	臨床免疫学特講Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ				
	病態解析学特別研究Ⅱ					
	国際実践フィールドワークⅡ	国際実践フィールドワークⅡ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ
	国際実践特講Ⅱ	分析医科学演習Ⅱ			病態解析学特別研究Ⅱ	
	分析医科学特講Ⅱ	細胞機能構造科学演習Ⅱ				
	細胞機能構造科学特講Ⅱ	病態代謝学演習Ⅱ				
専門性	病態代謝学特講Ⅱ	臨床免疫学演習Ⅱ				
	臨床免疫学特講Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ				
	国際実践特講Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ
	形態機能研究法特講Ⅱ	分子生物学特講Ⅱ			病態解析学特別研究Ⅱ	
	医療保健統計学・疫学特講Ⅱ	分析医科学演習Ⅱ				
	社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ	細胞機能構造科学演習Ⅱ				
	分析医科学特講Ⅱ	病態代謝学演習Ⅱ				
	細胞機能構造科学特講Ⅱ	臨床免疫学演習Ⅱ				
病態代謝学特講Ⅱ	病態解析学特別研究Ⅱ					
臨床免疫学特講Ⅱ						
病態解析学特別研究Ⅱ						

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程前期課程 リハビリテーション科学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

所属DPにおける学習目標	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
人間性	国際保健コミュニケーション特講 I	医療保健福祉特講 I	生体構造・機能解析学特別研究 I	生体構造・機能解析学特別研究 I
	保健倫理学特講 I	移植・人工臓器学特講 I	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I
	リハビリテーション科学総合実習(1) I	臨床心理学特講 I	作業障害解析・補完学特別研究 I	作業障害解析・補完学特別研究 I
	リハビリテーション科学専門領域実習 I	リハビリテーション科学総合実習(2) I	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I
	リハビリテーション管理学特講 I	リハビリテーション科学専門領域実習 I	精神障害リハビリテーション学特別研究 I	精神障害リハビリテーション学特別研究 I
創造性	国際実践特講 I	臨床心理学特講 I	生体構造・機能解析学特別研究 I	生体構造・機能解析学特別研究 I
	国際保健コミュニケーション特講 I	生体構造・機能解析学演習 I	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I
	リハビリテーション管理学特講 I	作業障害解析・補完学演習 I	作業障害解析・補完学特別研究 I	作業障害解析・補完学特別研究 I
	生体構造・機能解析学特講 I	運動機能障害リハビリテーション学演習 I	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I
	運動機能障害リハビリテーション学特講 I	脳機能障害リハビリテーション学演習 I	精神障害リハビリテーション学特別研究 I	精神障害リハビリテーション学特別研究 I
	作業障害解析・補完学特講 I	精神障害リハビリテーション学演習 I		
	脳機能障害リハビリテーション学特講 I	生体構造・機能解析学特別研究 I		
	精神障害リハビリテーション学特講 I	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I		
	生体構造・機能解析学特別研究 I	作業障害解析・補完学特別研究 I		
	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I		
	作業障害解析・補完学特別研究 I	精神障害リハビリテーション学特別研究 I		
	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I			
精神障害リハビリテーション学特別研究 I				
国際性	国際実践フィールドワーク I	国際実践フィールドワーク I	生体構造・機能解析学特別研究 I	生体構造・機能解析学特別研究 I
	国際保健コミュニケーション特講 I	生体構造・機能解析学演習 I	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I
	国際実践特講 I	運動機能障害リハビリテーション学演習 I	作業障害解析・補完学特別研究 I	作業障害解析・補完学特別研究 I
	生体構造・機能解析学特講 I	作業障害解析・補完学演習 I	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I
	運動機能障害リハビリテーション学特講 I	脳機能障害リハビリテーション学演習 I	精神障害リハビリテーション学特別研究 I	精神障害リハビリテーション学特別研究 I
	作業障害解析・補完学特講 I	精神障害リハビリテーション学演習 I		
	脳機能障害リハビリテーション学特講 I	生体構造・機能解析学特別研究 I		
	精神障害リハビリテーション学特講 I	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I		
	生体構造・機能解析学特別研究 I	作業障害解析・補完学特別研究 I		
	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I		
	作業障害解析・補完学特別研究 I	精神障害リハビリテーション学特別研究 I		
	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I			
精神障害リハビリテーション学特別研究 I				
専門性	情報科学特講 I	医療保健福祉特講 I	生体構造・機能解析学特別研究 I	生体構造・機能解析学特別研究 I
	国際実践特講 I	国際実践特講 I	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I
	保健倫理学特講 I	移植・人工臓器学特講 I	作業障害解析・補完学特別研究 I	作業障害解析・補完学特別研究 I
	エビデンスベーストヘルスケア特講 I	バイオサイエンス特講 I	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I
	リハビリテーション科学研究法特講 I	分子生物学特講 I	精神障害リハビリテーション学特別研究 I	精神障害リハビリテーション学特別研究 I
	福祉工学・建築学特講 I	IPW特講 I		
	生体構造・機能解析学特講 I	リハビリテーション科学研究法演習 I		
	運動機能障害リハビリテーション学特講 I	福祉工学・建築学特講 I		
	作業障害解析・補完学特講 I	生体構造・機能解析学演習 I		
	脳機能障害リハビリテーション学特講 I	運動機能障害リハビリテーション学演習 I		
	精神障害リハビリテーション学特講 I	作業障害解析・補完学演習 I		
	生体構造・機能解析学特別研究 I	脳機能障害リハビリテーション学演習 I		
	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I	精神障害リハビリテーション学演習 I		
	作業障害解析・補完学特別研究 I	生体構造・機能解析学特別研究 I		
	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I	運動機能障害リハビリテーション学特別研究 I		
	精神障害リハビリテーション学特別研究 I	作業障害解析・補完学特別研究 I		
	人間情報科学特論 I	脳機能障害リハビリテーション学特別研究 I		
		精神障害リハビリテーション学特別研究 I		
	脳情報通信システム特論 I			
	生体ゆらぎ論 I			

## カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程後期課程 リハビリテーション科学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける学習目標	1年次		2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間性	リハビリテーション科学特別研究法特講Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ
		リハビリテーション科学特別研究法演習Ⅱ				
創造性	社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ	生体構造・機能解析学演習Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ
	生体構造・機能解析学特講Ⅱ	運動機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ			リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	
	運動機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ	脳機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
	脳機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ	精神障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
	精神障害リハビリテーション学特講Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ				
	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ					
国際性	国際実践フィールドワークⅡ	国際実践フィールドワークⅡ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ
	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ			リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	
	国際実践特講Ⅱ	生体構造・機能解析学演習Ⅱ				
	生体構造・機能解析学特講Ⅱ	運動機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
	運動機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ	脳機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
	脳機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ	精神障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
	精神障害リハビリテーション学特講Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ				
	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ					
専門性	国際実践特講Ⅱ	国際実践特講Ⅱ				
	形態機能研究法特講Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ
	医療保健統計学・疫学特講Ⅱ	分子生物学研究法特講Ⅱ			リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	
	社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ	バイオサイエンス特講Ⅱ				
	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ	IPW特講Ⅱ				
	生体構造・機能解析学特講Ⅱ	リハビリテーション科学特別研究Ⅱ				
	運動機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ	生体構造・機能解析学演習Ⅱ				
	脳機能障害リハビリテーション学特講Ⅱ	運動機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
	精神障害リハビリテーション学特講Ⅱ	脳機能障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
	人間情報科学特論Ⅱ	精神障害リハビリテーション学演習Ⅱ				
		脳情報通信システム特論Ⅱ				
		生体ゆらぎ論Ⅱ				

カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程前期課程 地域保健学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける学習目標	1年次		2年次		
	前期	後期	前期	後期	
人間性	豊かな教養と高い倫理性を身につけた保健医療専門職として自立できる能力	国際保健コミュニケーション特講Ⅰ 保健倫理学特講Ⅰ 地域保健実践学特講Ⅰ 生活習慣病・予防治療学特講Ⅰ ヘルスプロモーション学特講Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 疫学特講 公衆衛生学特講 保健統計学特講 保健医療福祉論特講 地域公共政策論特講 医療経済論特講 公衆衛生看護学特講 社会健康論 個別支援論 個別支援論演習Ⅰ 組織活動論 健康教育特講・演習 地域看護診断論 看護研究特講Ⅰ 人口学特講Ⅰ 医療人類学特講Ⅰ 公衆衛生看護学特別研究	医療保健福祉特講Ⅰ 移植・人工臓器学特講Ⅰ 臨床心理学特講Ⅰ 地域実践活動特別演習Ⅰ 地域保健学実習Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 個別支援論演習Ⅱ 産業保健特講 地域看護診断演習 公衆衛生看護管理特講 健康危機管理特講 健康教育特講・演習 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 国際公衆衛生看護活動演習 公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(産業) 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 公衆衛生看護管理実習 公衆衛生看護学特別研究
		国際保健コミュニケーション特講Ⅰ 保健倫理学特講Ⅰ 地域保健実践学特講Ⅰ 生活習慣病・予防治療学特講Ⅰ ヘルスプロモーション学特講Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 疫学特講 公衆衛生学特講 保健統計学特講 保健医療福祉論特講 地域公共政策論特講 医療経済論特講 公衆衛生看護学特講 社会健康論 個別支援論 個別支援論演習Ⅰ 組織活動論 健康教育特講・演習 地域看護診断論 看護研究特講Ⅰ 公衆衛生看護学特別研究	医療保健福祉特講Ⅰ 移植・人工臓器学特講Ⅰ 臨床心理学特講Ⅰ 地域実践活動特別演習Ⅰ 地域保健学実習Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 個別支援論演習Ⅱ 産業保健特講 地域看護診断演習 公衆衛生看護管理特講 健康危機管理特講 健康教育特講・演習 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 国際公衆衛生看護活動演習 公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(産業) 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 公衆衛生看護管理実習 公衆衛生看護学特別研究
創造性	保健・医療・福祉の現場において地域の健康課題を創造的に解決する能力	国際実践特講Ⅰ 国際保健コミュニケーション特講Ⅰ ヘルスプロモーション学特講Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 疫学特講 公衆衛生学特講 保健統計学特講 地域公共政策論特講 医療経済論特講 保健医療福祉論特講 公衆衛生看護学特講 個別支援論 個別支援論演習Ⅰ 組織活動論 健康教育特講・演習 公衆衛生看護学特別研究	臨床心理学特講Ⅰ 地域保健学実習Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 個別支援論演習Ⅱ 公衆衛生看護管理特講 健康危機管理特講 健康教育特講・演習 環境保健学特講Ⅰ 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 国際公衆衛生看護活動演習 公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(産業) 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 公衆衛生看護管理実習 公衆衛生看護学特別研究
		国際実践特講Ⅰ 国際保健コミュニケーション特講Ⅰ ヘルスプロモーション学特講Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 疫学特講 公衆衛生学特講 保健統計学特講 地域公共政策論特講 医療経済論特講 保健医療福祉論特講 公衆衛生看護学特講 個別支援論 個別支援論演習Ⅰ 組織活動論 健康教育特講・演習 公衆衛生看護学特別研究	臨床心理学特講Ⅰ 地域保健学実習Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 個別支援論演習Ⅱ 公衆衛生看護管理特講 健康危機管理特講 健康教育特講・演習 環境保健学特講Ⅰ 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 国際公衆衛生看護活動演習 公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(産業) 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 公衆衛生看護管理実習 公衆衛生看護学特別研究
創造性	地域社会を基盤とした医療・保健システムの開発と科学的根拠に基づいて新しく健康をデザインする能力	国際実践特講Ⅰ 国際保健コミュニケーション特講Ⅰ ヘルスプロモーション学特講Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 疫学特講 公衆衛生学特講 保健統計学特講 地域公共政策論特講 医療経済論特講 保健医療福祉論特講 公衆衛生看護学特講 個別支援論 個別支援論演習Ⅰ 組織活動論 健康教育特講・演習 公衆衛生看護学特別研究	臨床心理学特講Ⅰ 地域保健学実習Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 個別支援論演習Ⅱ 公衆衛生看護管理特講 健康危機管理特講 健康教育特講・演習 環境保健学特講Ⅰ 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 国際公衆衛生看護活動演習 公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(産業) 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 公衆衛生看護管理実習 公衆衛生看護学特別研究
		国際実践特講Ⅰ 国際保健コミュニケーション特講Ⅰ ヘルスプロモーション学特講Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 疫学特講 公衆衛生学特講 保健統計学特講 地域公共政策論特講 医療経済論特講 保健医療福祉論特講 公衆衛生看護学特講 個別支援論 個別支援論演習Ⅰ 組織活動論 健康教育特講・演習 公衆衛生看護学特別研究	臨床心理学特講Ⅰ 地域保健学実習Ⅰ 地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 個別支援論演習Ⅱ 公衆衛生看護管理特講 健康危機管理特講 健康教育特講・演習 環境保健学特講Ⅰ 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 国際公衆衛生看護活動演習 公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(産業) 公衆衛生看護学特別研究	地域保健・健康科学特別研究Ⅰ 公衆衛生看護管理実習 公衆衛生看護学特別研究



# カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程後期課程 地域保健学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける学習目標	1年次		2年次		3年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
人間性	論理的考察力と客観的判断力を持ち他分野の人々と協働して地域の健康課題を解決する能力	地域保健実践学特講Ⅱ 生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ ヘルスプロモーション学特講Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ 地域実践活動特別演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
	豊かな教養と高い倫理性を身につけた保健医療専門職者を指導できる能力	地域保健実践学特講Ⅱ 生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ ヘルスプロモーション学特講Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ 地域実践活動特別演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
創造性	地域の潜在的な健康課題を新たに見出し創造的に解決する能力	国際実践特講Ⅱ 社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ ヘルスプロモーション学特講Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
	研究・教育・地域保健を柱とする新しい総合保健医療を創造する能力	国際実践特講Ⅱ 社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ ヘルスプロモーション学特講Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
国際性	文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を解決する能力	国際実践フィールドワークⅡ 国際実践特講Ⅱ ヘルスプロモーション学特講Ⅱ 地域保健実践学特講Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワークⅡ 地域実践活動特別演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
	国際的な諸問題に積極的に取り組み、共同研究や活動を推進する能力	国際実践フィールドワークⅡ 国際実践特講Ⅱ ヘルスプロモーション学特講Ⅱ 地域保健実践学特講Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワークⅡ 地域実践活動特別演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
専門性	科学的思考力と高い倫理観に根ざし、高度で卓越した地域保健の実践を展開できる能力	国際実践特講Ⅱ 形態機能研究法特講Ⅱ 医療保健統計学・疫学特講Ⅱ 社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ 生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ ヘルスプロモーション学特講Ⅱ 地域保健実践学特講Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ 分子生物学研究法特講Ⅱ 地域実践活動特別演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
	地域保健学の学問体系の確立と発展に寄与し、学際的研究を積極的に推進する能力	国際実践特講Ⅱ 形態機能研究法特講Ⅱ 医療保健統計学・疫学特講Ⅱ 社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ 生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ ヘルスプロモーション学特講Ⅱ 地域保健実践学特講Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ 分子生物学研究法特講Ⅱ 地域実践活動特別演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ
	地域保健に関する諸課題を科学的・理論的に分析し社会に発信する能力	国際実践特講Ⅱ 形態機能研究法特講Ⅱ 医療保健統計学・疫学特講Ⅱ 社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ 生活習慣病・予防治療学特講Ⅱ ヘルスプロモーション学特講Ⅱ 地域保健実践学特講Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ 分子生物学研究法特講Ⅱ 地域実践活動特別演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	国際実践フィールドワーク演習Ⅱ 地域保健・健康科学特別研究Ⅱ	地域保健・健康科学特別研究Ⅱ

## カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程前期課程 国際保健学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける 学習目標	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
専門性	国際実践特講 I	医療保健福祉特講 I	国際保健協力活動特別研究 I	国際保健協力活動特別研究 I
	保健倫理学特講 I	移植・人工臓器学特講 I	感染症対策特別研究 I	感染症対策特別研究 I
	エビデンスベーストヘルスケア特講 I	情報科学特講 I		
	国際保健協力活動特別研究 I	分子生物学特講 I		
	感染症対策特別研究 I	臨床心理学特講 I		
	病理病態学特講 I	国際保健協力活動特別研究 I		
	公衆衛生学特講 I	感染症対策特別研究 I		
	災害マネジメント論特講 I	病理病態学演習 I		
	感染症学特講 I	公衆衛生学演習 I		
	国際実践特講 I	災害マネジメント論演習 I		
	国際保健研究方法論特講 I	寄生虫学演習 I		
	国際保健・災害医療学特講 I	細菌学演習 I		
		ウイルス学演習 I		
国際性	国際実践フィールドワーク I	国際実践フィールドワーク I	国際保健協力活動特別研究 I	国際保健協力活動特別研究 I
	国際保健コミュニケーション特講 I	国際保健協力活動特別研究 I	国際開発特別研究 I	国際開発特別研究 I
	国際実践特講 I	国際開発特別研究 I	感染症対策特別研究 I	感染症対策特別研究 I
	国際保健協力活動特別研究 I	感染症対策特別研究 I		
	国際開発特別研究 I	病理病態学演習 I		
	感染症対策特別研究 I	国際保健支援論演習 I		
	病理病態学特講 I	国際保健フィールドワーク I		
	国際保健支援論特講 I	災害マネジメント論演習 I		
	国際保健フィールドワーク I	寄生虫学演習 I		
	災害マネジメント論特講 I	細菌学演習 I		
	感染症学特講 I	ウイルス学演習 I		
	国際実践特講 I			
	国際保健研究方法論特講 I			
国際保健・災害医療学特講 I				
創造性	国際実践特講 I	臨床心理学特講 I	国際保健協力活動特別研究 I	国際保健協力活動特別研究 I
	国際保健コミュニケーション特講 I	国際保健協力活動特別研究 I		
	国際保健協力活動特別研究 I	病理病態学演習 I		
	病理病態学特講 I	国際保健フィールドワーク I		
	国際保健フィールドワーク I	災害マネジメント論演習 I		
	災害マネジメント論特講 I			
	国際実践特講 I			
国際保健・災害医療学特講 I				
人間性	国際保健コミュニケーション特講 I	医療保健福祉特講 I	国際保健協力活動特別研究 I	国際保健協力活動特別研究 I
	保健倫理学特講 I	移植・人工臓器学特講 I		
	国際保健協力活動特別研究 I	臨床心理学特講 I		
	国際保健支援論特講 I	国際保健協力活動特別研究 I		
	国際保健フィールドワーク I	国際保健支援論特講 I		
	災害マネジメント論特講 I	国際保健フィールドワーク I		
	国際保健研究方法論特講 I	災害マネジメント論演習 I		
	国際実践特講 I			
国際保健・災害医療学特講 I				

## カリキュラム・ポリシー

保健学研究科博士課程後期課程 国際保健学領域

保健学研究科では、本研究科のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のとおり体系的な教育課程の編成を行っている。

部局DPにおける 学習目標	1年次		2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門性	社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
	国際実践特講Ⅱ	分子生物学研究法特講Ⅱ			国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	
	形態機能研究法特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ				
	医療保健統計学・疫学特講Ⅱ	病理病態学演習Ⅱ				
	国際保健学特別研究Ⅱ	フィールドワーク演習Ⅱ				
	病理病態学特講Ⅱ	公衆衛生学演習Ⅱ				
	公衆衛生学特講Ⅱ	災害マネジメント論演習Ⅱ				
	災害マネジメント論特講Ⅱ	細菌学演習Ⅱ				
	感染症学特講Ⅱ	寄生虫学演習Ⅱ				
		ウイルス学演習Ⅱ				
		保健医療論演習Ⅱ				
		感染症論演習Ⅱ				
		障害者支援地域論演習Ⅱ				
	国際保健フィールドワーク特別研究Ⅱ					
国際性	国際実践フィールドワークⅡ	国際実践フィールドワークⅡ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
	国際実践特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ			国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	
	国際保健学特別研究Ⅱ	病理病態学演習Ⅱ				
	病理病態学特講Ⅱ	国際保健支援論演習Ⅱ				
	国際保健支援論特講Ⅱ	災害マネジメント論演習Ⅱ				
	災害マネジメント論特講Ⅱ	フィールドワーク演習Ⅱ				
	国際実践特講Ⅱ	国際保健研究方法論演習Ⅱ				
	感染症学特講Ⅱ	細菌学演習Ⅱ				
		寄生虫学演習Ⅱ				
		ウイルス学演習Ⅱ				
		障害者支援地域論演習Ⅱ				
		国際保健フィールドワーク特別研究Ⅱ				
創造性	国際実践特講Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
	社会・保健行動科学研究法特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ			国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	
	国際保健学特別研究Ⅱ	病理病態学演習Ⅱ				
	病理病態学特講Ⅱ	国際保健支援論演習Ⅱ				
	国際保健支援論特講Ⅱ	災害マネジメント論演習Ⅱ				
	災害マネジメント論特講Ⅱ	フィールドワーク演習Ⅱ				
		国際保健研究方法論特講Ⅱ				
	障害者支援地域論演習Ⅱ					
人間性	国際保健学特別研究Ⅱ	精神保健学特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ
	国際保健支援論特講Ⅱ	国際保健学特別研究Ⅱ			国際実践フィールドワーク演習Ⅱ	
	災害マネジメント論特講Ⅱ	国際保健支援論演習Ⅱ				
	国際実践特講Ⅱ	災害マネジメント論演習Ⅱ				
		フィールドワーク演習Ⅱ				
		国際保健研究方法論演習Ⅱ				
		障害者支援地域論演習Ⅱ				
	国際保健フィールドワーク特別研究Ⅱ					